

留学先大学：BESIGN The Sustainable Design School 大学

氏名：篠田泰成

【はじめに】

今月はニースの街について書きます。
南仏を代表するリゾート地と知られるニース。ビーチ沿いに展開される繁華街や毎朝開催されるマルシェからの活気で溢れる街です。ここではニースで約 3 ヶ月くらして思うさまざまなことを書こうと思います。



↑ 11 月 AM8:00 ニース駅

・オールドニース

フランスの都市には時よりオールドタウンというものが存在し、意味はそのまま古くに栄えてきたであろう旧市街を指します。ニースにも例外なくオールドタウン（オールドニース）が存在しており、旧市街の名の通り、ニースらしい建物や文化を楽しめる場所として大変人気な場所です。朝はマルシェからサボンやラベンダーが香り、夜はたくさんの飲食店で賑わっています。私が友人と遊ぶとなれば、大体がオールドニースにある飲食店かバーに集合することになります。

・ジャンメデュサン通り

ニースのメイン通りであり、ショッピング通りです。中心にトラムが走り、その両隣にたくさんのお店が並んでいます。基本的にはアパレル、雑貨、複合施設で構成されているため、日本の市街地と似た風景を見ることができます。

・交通機関

ニースに限らず、遠距離は電車、中近距離はトラムかバスで移動します。日本と同じかそれ以上に交通網は張り巡らされた感覚があります。そのためか、自転車に乗る人を見かけることがほとんどありません。3 ヶ月で一度だけです。その代わりに電動スクーターが流通しているようですが、それにしては数はかなり少数です。

・治安

ニースの治安について心配されることが多いですが、一言で言えば比較的安全だと思います。道端でホームレス座っていたりすることはありますが、特に何もありません。歩きタバコが当たり前ですの

で、問題があるとすればそれくらいだと思います。夜の 22:00 を過ぎても広場で小学校低学年くらいの子供がはしゃいでいるのを見た時は驚きましたが、夜の公園で仲良く遊ぶ親子がたくさんいて、治安の良さを実感しました。オールドニースでお酒を飲んでいただけでも、日本のように酔っ払い集団がいるわけではありません。友人と何度か遊んで確信しましたが、基本的にヨーロッパの人はお酒に強いからか、まず日本人のような酔い方はしません。そして、居酒屋がなく、レストランかバーのみです。楽しくトークしたり、ジャズバンド鑑賞をしたりしながら飲むことが多いようです。クラブのような場所に行けばまた別なのでしょうが、自分から足を踏み入れない限りはお酒の場であっても安全と言えるでしょう。

ただし、用心に越したことはないでしょう。私は基本的にボディバッグで生活していますし、電車内で鞆を下ろさないように心がけています。スリや置き引きの被害にあったことはありませんが、転ばぬ先の杖の精神は大切です。

・人柄

暖かい人が多い印象を持ちましたが、フランスの友人に言わせると、南仏の人は優しく、パリの人は冷たいというのがある意味常識なんだとか笑。英語で聞けば笑顔で答えてくれますし、逆にこちらが質問されることもあります。子連れやペット連れが多いことも影響しているかもしれません。

・暮らし

自炊をするなら日本と大差ない暮らしができると思います。フランスのスーパーマーケットは日本の表示価格より 100 円ほど割高なイメージをしてください。ただし、賞味期限にあまり信用がないとの声を聞いたことがあります。ちなみにスーパーでカップ麺やその場で食べることができるサンドウィッチを買うこともできます。

学校での昼食は大体が近くのスーパーがベーカリーで済ませることが多いです。フランスには本当にたくさんのベーカリーがあり、クロワッサンなどはだいたい 1€で買えます。5€もあれば大抵の商品を買うことができます。

・水

フランスの水は硬水ですが、個人的には違いがわかりません笑。家では瓶で水道水を冷やして飲んでます。日本の水道は少し塩素が香りますが、フランスの水はいい意味で無味無臭です。

